

計画における区域設定の考え方

◆第1期計画における区域設定

第1期計画においては、本市の「量の見込み」と「確保方策」を設定する単位として、中学校区を2～3校区ずつ組み合わせた4区域とした。

- ・「認定区分」、「地域子育て支援事業」ごとに市域全体を1つの区域とするか、4つの区域に分けて計画を定めるかを検討した
- ・移動可能範囲は問題ない
- ・区域ごとの児童数や保育所箇所数などの差が少ない
- ・豊川市高齢者福祉計画における区割りと同じであり一定の周知がされており、市として計画間の整合性が取れる

第1期計画策定時の区域一覧

4 圏域	東部圏域	南部圏域	西部圏域	北部圏域
中学校区	一宮中学校区 東部中学校区	南部中学校区 小坂井中学校区	西部中学校区 音羽中学校区 御津中学校区	金屋中学校区 中部中学校区 代田中学校区
(参考) 小学校区	・一宮西部、 一宮東部、一 宮南部 ・豊川、東 部、桜木、豊	・牛久保、中 部、天王 ・小坂井西、 小坂井東	・国府、御油 ・萩、長沢、赤坂 ・御津北部、御津 南部	・三蔵子、金屋 ・千両、八南、平尾 ・桜町、代田

◆第2期計画における区域設定

・第1期計画の4区域について再検討した結果、移動可能範囲に問題がないことや、区域ごとの児童数等に大きな差がないこと、高齢者福祉計画の日常生活圏域とも合致しており市民へ浸透していることから、第2期計画の「量の見込み」と「確保方策」を設定する単位として、第1期計画における4区域を継続する。

・「認定区分」、「地域子育て支援事業」ごとに区域(市域全体を1つの区域、または、4つの区域に分ける)を策定

4区域の児童数・保育所箇所数

区域	東部 (一宮・東部)	南部 (南部・小坂井)	西部 (西部・音羽・御津)	北部 (金屋・中部・代田)
0～5歳児童数	2,330人	2,324人	2,238人	2,993人
児童数の差	最大差 755人 率 1.34倍			
保育所箇所数	11箇所	11箇所	13箇所	13箇所
保育所の差	箇所数差 2箇所 1箇所当たり児童数の差 58.1人			
その他施設数	認定こども園 1箇所 幼稚園 3箇所	認定こども園 1箇所 幼稚園 1箇所 小規模保育 1箇所	幼稚園 1箇所	小規模保育 3か所

◆ 第3期計画における区域設定

・第2期計画の4区域について再検討した結果、移動可能範囲に問題がないことや、区域ごとの児童数等に大きな差がないこと、高齢者福祉計画の日常生活圏域とも合致しており市民へ浸透していることから、第2期計画の「量の見込み」と「確保方策」を設定する単位として、第3期計画における4区域を継続する。

・「認定区分」、「地域子育て支援事業」ごとの区域の策定については、骨子案を踏まえ、引き続き検証を実施(市域全体を1つの区域、または、4つの区域に分けて策定)

(参考) 4区域の児童数・保育所箇所数

区域	東部 (一宮・東部)	南部 (南部・小坂井)	西部 (西部・音羽・御津)	北部 (金屋・中部・代田)
0～5歳児童数	2,082人	2,085人	2,064人	2,416人
児童数の差	最大差 352人 率 1.17倍			
保育所箇所数	10箇所	11箇所	12箇所	13箇所
保育所の差	箇所数差 3箇所 1箇所当たり児童数の差 13.8人			
その他施設数	認定こども園 1箇所 幼稚園 3箇所	認定こども園 1箇所 幼稚園 1箇所 小規模保育 1箇所	幼稚園 1箇所	小規模保育 3か所

